ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2017

EUROPEAN MOBILITY WEEK

16-22 SEPTEMBER

「きれいで、共有された、賢い移動」

2017

日本国内実施状況報告

EUROPEANMOBILITYWEEK

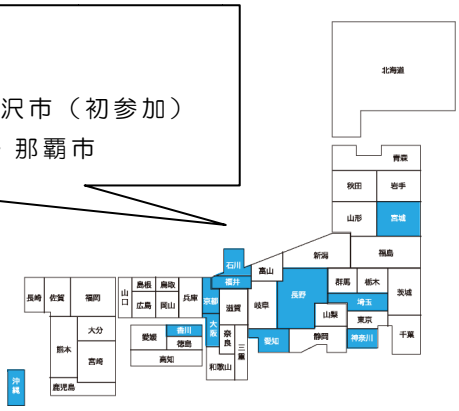
ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2017

モビリティウィーク&カーフリーデー（9/16-22）は、持続可能な社会の構築にむけ、交通を切り口に、まちづくり、環境、生活など考える環境交通週間です。2017 年は、過去最多の世界 2526 都市、日本国内からは、12 都市が参加しました。金沢市は今年初参加となりました。

※仙台市と高松市は、台風の影響により、カーフリーデー当日のイベントが完全中止となりました。

全国１２都市で開催しました！

仙台市・さいたま市・横浜市・逗子市・松本市・金沢市（初参加）
福井市・豊橋市・京都市・大阪市・高松市・那覇市



EMW&CFD2017 参加都市と実施形態の概要				
	主催団体	都市名	主催	
			行政	市民
1	交通を考える研究会	仙台市		●
2	さいたまカーフリーデー実行委員会	さいたま市	●	●
3	NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会	横浜市		●
4	逗子市	逗子市	●	
5	松本市ノーマイカーデー推進市民会議	松本市	●	●
6	金沢市 *NEW!*	金沢市	●	
7	カーフリーデーふくい実行委員会	福井市		●
8	豊橋市役所	豊橋市	●	
9	自転車文化タウンづくりの会	大阪市		●
10	京都カーフリーデー実行委員会	京都市		●
11	カーフリーデー高松推進協議会	高松市	●	
12	なはモビリティウィーク&カーフリーデー実行委員会	那覇市		●

© CFDJapan

仙台市：交通を考える研究会

8回目参加

交通を考える研究会は、「いつか仙台でも本格的なカーフリーデーを！」をテーマに掲げて、毎年活動しています。

今年も、昨年に引き続き、ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーをＰＲするとともに、地下鉄東西線の開業を機に、仙台の公共交通の活用や、「クルマ中心の生活を見直していこうよ」というメッセージを発信しました。「魅力いっぱい！交通フェスタ２０１７」へのブース出展、「使おうイクスカ　１００円パッ区クイズラリー」は、あいにくの台風の影響等により中止となりましたが、仙台駅前バスプールでの 100 パッ区ルートマップの掲示（仙台駅からワンコイン！１００円パッ区を便利に使おう）により、多くの市民の皆さんに知ってもらうことができました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/18-22（～30）
「仙台駅からワンコイン！100 円パッ区を便利に使おう」の掲示@仙台駅前バスプール
9/18
「魅力いっぱい！交通フェスタ２０１７」にブース出展（中止）
9/30
関連イベント「使おうイクスカ 100 円パッ区クイズラリー」（中止）

「仙台駅からワンコイン！１００円パッ区を便利に使おう」の掲示 @仙台駅前バスプール（9/18-9/30）

© CFDJapan

さいたま市：さいたまカーフリーデー実行委員会

11 回目参加

今年のカーフリーデーは、台風の影響により、規模が縮小されましたが、「未来に残そう！シェアする交通と私たちの街！」のキャッチフレーズの下、交通や環境、まちづくりに関する取組紹介、カーフリーデーの取組みや交通施策の PR、福祉車両などの展示に加え、交通規制した道路空間でのオープンカフェ、スタンプラリーや小学生の職場体験教室などが実施されました。今年は、新たに、ノーマライゼーション・アートとして、道路上でのお絵かきや民族楽器の演奏体験など、たくさんの子どもたちが楽しんでいる様子がうかがえ、家族連れを中心に、「街中における車の使い方」を見直すきっかけを提供しました。また、モビリティウィーク期間中には、例年通り、「ノーマイカーデー」や「バスの日」が実施されました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/15	ノーマイカーデー
9/16	カーフリーデー［時間短縮］
9/17	カーフリーデー（ＰＲイベント）中止
9/20	バスの日

カーフリーデー当日　会場の様子

道路でお絵かき

© CFDJapan

市民向けアピール賞受賞！　モビリティウィーク&カーフリーデー日本アワード 2017

横浜市：NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会

１４回目参加

NPO 法人横浜カーフリーデー実行委員会は、例年、日本大通りを交通止めにし、横浜公園をイベント会場として盛大に行っています。

今年もカーフリーデー当日には、交通や環境だけにとどまらず、まちづくりから健康まで幅広いテーマに富んだ展示や、楽しみながら学べるイベントを実施し、こどもから大人まで多くの市民が参加しました。幼いころから環境問題や交通に関する知識・理解を深めることが重要と考え、こどもたちへの普及啓発に力を入れていますが、今年も近隣 6 区の小学校へチラシを 4 万枚配布しました。そして、例年通り、市営地下鉄の駅構内でのポスター掲示や、市営地下鉄・市営バスの全車両でポスターが中吊りされるなど、事前の周知を徹底し、継続的な啓発を行っています。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/23　カーフリーデー

カーフリーデー当日　パレードの様子

© CFDJapan

逗子市：逗子市

８回目参加（行政参加２回目）

以前は、市の後援・協力のもと、市民団体が実施してきましたが、2016年から行政主催となり、今年は２年目の実施となりました。昨年はあいにくの雨天により中止となってしまったため、今年が実質上の初参加となりました。

カーフリーデー当日は、車に頼りすぎない仕組みづくりの検討のきっかけとなるよう、JR 逗子駅周辺の駐車場マップの配布、EMW&CFD 等のパネル展示やアンケートの実施、市庁舎来庁舎用駐輪場の臨時開放を実施しました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/23 カーフリーデー

カーフリーデー当日　駅前広場周辺でのパネル展示等の様子

© CFDJapan

まちづくり貢献賞受賞！　モビリティウィーク&カーフリーデー日本アワード 2017

松本市：松本市ノーマイカーデー推進市民会議

14 回目参加

今年も、例年通り、モビリティウィークでは、人通りの多い松本駅東西自由通路や銀行のギャラリーでモビリティウィークや交通まちづくりに関するパネル展示を行い、ノーマイカー通勤を統一実施するなど、市民への周知・啓発に努め、最終日のカーフリーデーに臨みました。

カーフリーデー当日は、昨年同様、メインストリートでのトランジットモールの実施（大名町通り、中町通り）、周辺道路でのカーフリーエリアの創出（緑町通り、高砂通り、縄手通り）により、松本城周辺が、クルマから解放された人と環境にやさしい都市空間となりました。そこでは、地域住民・団体等による様々な企画が実施され、各通りで特色のある賑わいが演出され、多くの市民や観光客に、楽しみながら、クルマ優先社会について見直す機会が提供されました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/16-22（13～25）
ＥＭＷ＆ＣＦＤ等パネル展示・チラシ設置
@八十二銀行松本営業部ギャラリー、松本駅東西自由通路
9/21　「ノーマイカー通勤統一実施日」
9/23　　カーフリーデー

カーフリーデー当日　交通安全教室＆お絵かきの様子

© CFDJapan

金沢市：金沢市

初参加

金沢市では、第２次金沢交通戦略の目指す「公共交通優先のまちづくり」「ネットワークでつなぐまちづくり」を市民に広く発信するとりくみの一つとして、カーフリーデーが実施されました。

カーフリーデー当日は、市庁舎前広場にて、市の交通政策の紹介や、福祉車両・電気自動車タクシーの展示、まちのり体験（電動アシスト自転車体験）、親子交通体験ツアー、子ども向けの電車・バスイベントなどを行い、たくさんの市民が参加しました。また、23、24 日には、カーフリーデーにあわせて、都心軸における公共交通の走行環境を向上するため、バス専用レーンの時間帯が拡大されました。

モビリティウィーク期間中は、市役所の交通政策課内でカーフリーデーのパネル展示が行われました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/16-22
ＥＭＷ＆ＣＦＤ等パネル展示@金沢市役所交通政策課内
9/23　カーフリーデー

カーフリーデー当日　会場の様子

© CFDJapan

福井市：カーフリーデーふくい実行委員会

11 回目参加

昨年同様、9/15～22 はモビリティウィークふくいとして福井駅前ビルにてパネル展示を、また 9/1～29 にはモビリティマンスふくいとして市立図書館での「公共交通図書 特集コーナー」が設置されました。

カーフリーデー当日は、駅前広場ハピテラスにて、今年も「クルマをおいてホジロバ交通（歩行者、自転車、路面電車、バス）で街に出よう！」をテーマに、例年実施の「ちょい旅（バス・電車のフリーキップを渡しまち歩きをしてもらうイベント）」や、バスの乗り方教室、モビリティセンター、各種イベントと様々な企画が行われました。当日は、直前まで台風の影響が報道されたことから、快晴ではあったものの、会場には人通りが少なかったのですが、参加した市民のみなさんには、公共交通優先のまちづくりについて楽しく考えるきっかけを提供できました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/16（15）-22　パネル展
9/17　　カーフリーデー

◆モビリティウィーク期間外の取組み◆

9/1-29　モビリティマンスふくい 2016
（「公共交通図書特集コーナー」開催）

カーフリーデー当日　会場の様子

© CFDJapan

イベント・プロジェクト賞受賞！ モビリティウィーク&カーフリーデー日本アワード 2017

豊橋市：豊橋市

５回目参加

豊橋市では、「歩いて暮らせるまち」（都市計画マスタープランの目標像）の実現等にむけて、毎年、カーフリーデーを実施しています。

今年は初めて、カーフリーエリアを創出し、路上でのイベントを実施しました。

集客力の高いイベントである「豊橋歩行者天国」を同時開催とすることで、多くの市民に、カーフリーデーを周知することができました。そこでは、子どもに楽しんでもらう様々なイベントや、自転車シミュレーター体験、「カーフリー宣言」（来場者がカーフリーデーの趣旨に沿った自分ができる取組みを記入する）など、こどもだけでなく、大人にもライフスタイルの転換となるきっかけづくりを提供しました。また、モビリティウィークでは、県境周辺の事業者に対してのモビリティマネジメント（公共交通等での通勤の呼びかけ）、とよはし健康マイレージとの連携、図書館公共交通フェアなど幅広く啓発活動を行いました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/16
公共交通割引きっぷを環境フェスタで配布
9/16-22
図書館公共交通フェア（～24）・とよはし健康マイレージ
9/18-22
市職員、県境企業に対し、エコ通勤の積極的な実施の呼びかけ
9/24　カーフリーデー

カーフリーデー当日の様子

© CFDJapan

大阪市：自転車文化タウンづくりの会

６回目参加

自転車文化タウンづくりの会は“歩行者も自転車も安心して通行できる環境づくり”を求め、団体の趣旨に賛同するたくさんの方々を集めて、自転車で走行アピールを行っています。

「大阪モビリティウィーク＆カーフリーデー2017（御堂筋サイクルピクニック第 12 回）」では、今年も、たくさんの賛同者たちが、中之島→御堂筋→本町通→上町筋→中之島を自転車で走行しました。会場では、子どもの時から自転車に乗る楽しさとルールを知ってもらうための「子ども自転車教室」、自転車に関連するブース、自転車マーケットなどが行われました。特に、今年は、子ども自転車教室が路上で行われ、終了後には、川辺ポタリングを行ったりなど、参加した市民のみなさんに、楽しみながら自転車・まちのことを考える場が提供されました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/18　カーフリーデー
（御堂筋サイクルピクニック第 12 回）

カーフリーデー当日　自転車アピール走行の様子

© CFDJapan

京都市：京都カーフリーデー実行委員会

５回目参加

京都カーフリーデー実行委員会は、行政・大学・民間など様々な団体と連携し、毎年、「身近な生活」と交通を関連させた取組みをおこなっています。

今年も、昨年同様、二条駅西口と京都御苑の２会場で、二日間行いました。台風の影響により、二条駅西口会場では、屋外イベントが中止、屋内施設のみでの啓発活動となりましたが、翌日の京都御苑会場では、レンタサイクルを除き、すべて企画が実施され、たくさんの市民・観光客が参加しました。昨年に引き続き、外国人観光客を主な対象とした「交通案内所」や、大学生を対象とした「自転車安全利用講習」の開催に加え、今年は、morning yogaやトークカフェも行われ、幅広い層への啓発が実現できました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/16-22
「環境・交通先進都市」写真展、パネル展示（9/16-各団体による事前紹介）
9/17 カーフリーデー（二条駅西口会場）
9/18　カーフリーデー（京都御苑会場）

カーフリーデー当日　交通案内所の様子＆自転車安全利用講習会

© CFDJapan

高松市：カーフリーデー高松推進市民協議会

10 回目参加

高松カーフリーデーは、今年も、主会場の美術館通りと第２会場の高松南部３町等（高松南部３町及び瓦町駅）の２会場での開催を予定していましたが、台風の影響により、完全中止となりました。

高松市では、今年度まで 10 年間、都市における自転車や公共交通の利用を促進し、過度な自動車の利用について考え直すための社会啓発活動の一環として、地元地域、各種団体の協力・理解を得ながら、カーフリーデーを実施してきました。その間、市の各種施策・事業も推進し、公共交通利用促進にむけた好循環への兆しが見えつつあることから、10 年目の今年度を区切りとしてカーフリーデー事業が終了となりました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/16-22　公共交通利用促進パネル展
9/17　カーフリーデー（中止）

カーフリーデーのチラシ

© CFDJapan

那覇市：なはモビリティウィーク&カーフリーデー実行委員会

11回目参加（市民団体参加1回目）

なはモビリティウィーク＆カーフリーデーは、昨年まで、「那覇市交通基本計画」における「交通に対する意識改革」を図る重要な取組みの一つとして、行政で実施されていましたが、今年度からは、これまで以上に市民が自らクルマに頼りがちな生活と公共交通のあり方を考えることを推進するため、民間主体での運営へと移行しました。

カーフリーデーは、例年通り、国際大通りのトランジットモール（毎週日曜開催）に合わせ、クールチョイスイベントと同時開催として実施されました。当日は、てんぷす前広場にて、公共交通に関心をもってもらうための「カーフリーデークイズ」、バス・公共交通のぬりえや、日除けのための中古傘無料配布、カーフリー宣言やアンケートの実施などを行い、規模は縮小したものの、昨年同様、継続的にたくさんの市民に楽しんでもらいながら啓発ができました。

モビリティウィーク期間中には、市役所にて、都市と交通パネル展、モビリティウィーク＆カーフリーデー展を行って、市役所を訪れる市民にも、啓発を行いました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/16（11）-22
都市と交通パネル展示、モビリティウィーク＆カーフリーデー写真展
9/17　カーフリーデー

カーフリーデー当日　会場の様子

© CFDJapan

ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2017

EUROPEAN MOBILITY WEEK

16-22 SEPTEMBER

ヨーロッパモビリティウィークカーフリーデー
日本担当事務局

一般社団法人　カーフリーデージャパン

東京都豊島区目白 2-3-3-１Ａ
電話：03-6914-3404
ファックス：03-5953-0576